

印西大師 第10番 武西・観世音堂

1 名称 (No.010)〔手引鏡：観音堂〕〔資料館：観音堂〕〔行程表：観音堂〕

2 場所 印西市武西209 観世音堂

安養寺から道程約380m

GPS座標 35.784279565093236, 140.10852887699468

3 由緒 天台宗

向新田207にあり 天台宗で安養寺に所属し、馬頭観音を本尊とする。(平成6年寺院堂庵明細表)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体(明治11年造立)あり。

5 境内 奥にあるもう一つの御堂は不動明王か？ 大師堂の南は広々とした田んぼ

6 写真 (2019.06、2023.01撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



武西観世音堂の表示板



御詠歌の額



大師堂と観世音堂

7 情報

(1) 印西大師 第10番 観音堂 御詠歌 (泉倉寺本による)

欲心を只(ただ)一筋に切幡寺 後の世迄(まで)の障りとぞなる

四国八十八ヶ所 第10番 高野山真言宗 得度山(とくどざん) 灌頂院(かんじょういん) 切幡寺(きりはたじ) 写し

(2) 念仏堂

印西町調査報告書(追録)に「向新田二〇七 念仏堂」に明治11年(1878年)造立の丸彫の弘法大師像があると記載されている。現在の武西観世音堂の東隣が更地になっているが、そこに念仏堂があったのであろうか。なお、念仏堂にあった御大師様と造立年が同じなので、現在の第10番の御大師様と考えられる。